

環境変数「PATH」の設定

コマンドプロンプトから Java コマンドを動作させるためには、Java 言語の開発環境 (JDK) がどこにインストールされているのかを分かるようにしておく必要があります。具体的には、環境変数「PATH」に JDK (Java 開発キット) の保管場所 (パスと言います) を登録する、という形で行います。以下の手順にしたがって設定して下さい。

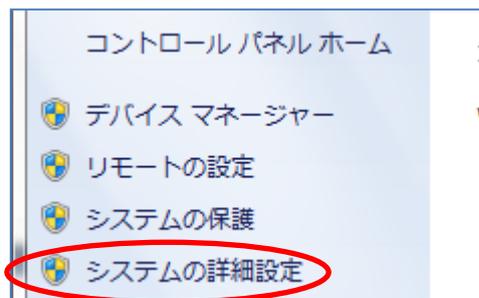
① 準備 — JDK のパスの確認

Windows 8 の場合、JDK は「C:\Program Files (x86)\Java」という場所に保管されています。ここには [ローカルディスク (C:)] → [Program Files (x86)] → [Java] とフォルダをたどることで到達できます。この [Java] フォルダの中に、[jdk1.7.0_40] などの JDK フォルダがあるはずですが (バージョン番号はインストール時期によって異なります)。バージョンが異なる複数のフォルダがある場合は、最新のものを選びましょう。以下では、[jdk1.7.0_40] が JDK のバージョンであるものとして説明する事にします。このとき、JDK のパスは次のようになります。

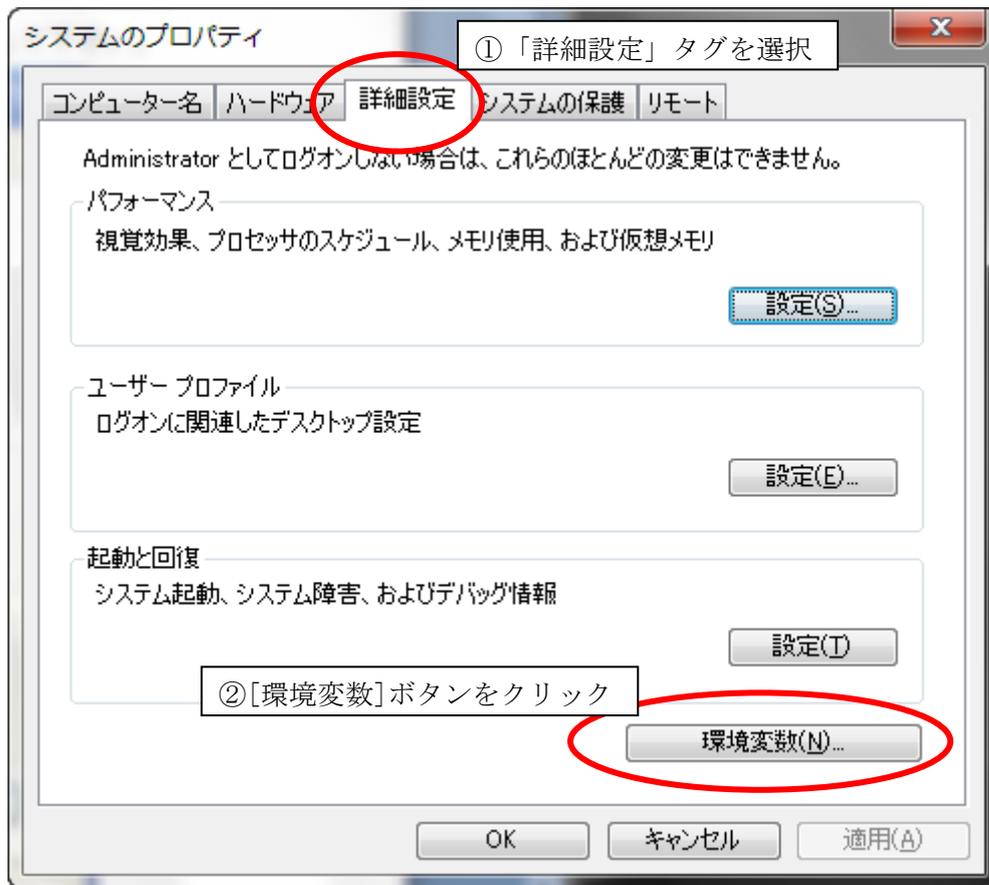
C:\Program Files (x86)\Java\jdk1.7.0_40\bin

② 次に、システムのプロパティ画面を開いて下さい。

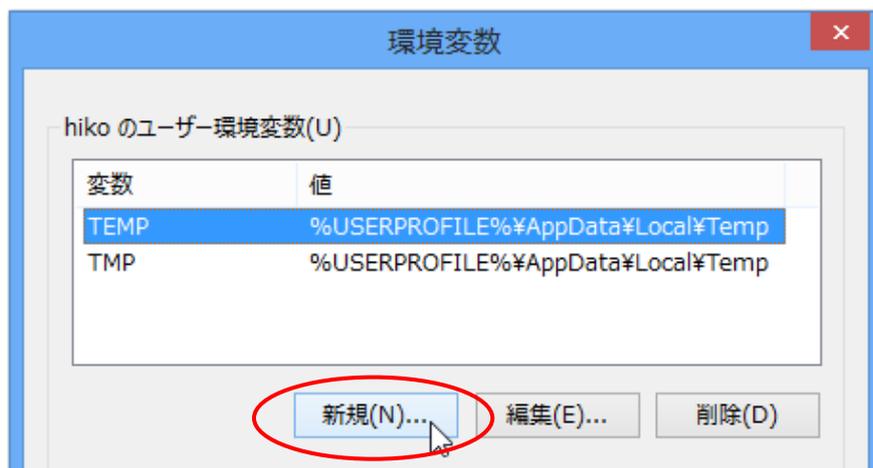
「コントロールパネル」→「システムとセキュリティ」→「システム」と選択し、画面左側のフレームから、「システムの詳細設定」を選択します。



③ すると、システムのプロパティ画面が現れるので、ここで「詳細設定」タグを選択します (すでに選択されています)。そして、[環境変数] ボタンをクリックして下さい。

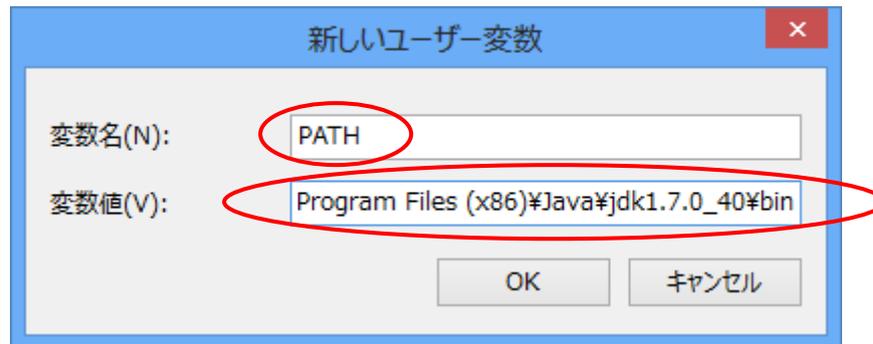


- ④ 「環境変数」画面のユーザ環境変数の「新規」ボタンをクリックします。



※ すでに PATH という環境変数がある場合はそれを選択し「編集」ボタンをクリックします。

- ⑤ 続いて、PATH という環境変数を指定し、変数値として、
`C:\Program Files (x86)\Java\jdk1.7.0_40\bin`
 を設定します。



※ ④で [編集] ボタンをクリックした場合は、「変数値」欄の末尾に以下のパスを追加して下さい。

`;C:¥Program Files (x86)¥Java¥jdk1.7.0_40¥bin`

⑥ あとは[OK]ボタンをクリックして行けば設定完了です。